

令和6年10月22日

第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の
持ち回り審議実施に係る審議内容及び決定事項について

令和6年6月に持ち回り審議（書面による審議）にて実施した標記委員会について、審議内容及び決定事項に係る資料は次のとおりである。

【審議内容及び決定事項に係る資料】

- (別紙1) 第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の報告事項に対する委員の意見と委員長・事務局の見解・コメント
- (別紙2) 第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議決定事項
- (別紙3) 第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会持ち回り審議 審議事項の概要

第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会(持ち回り審議)
委員の意見とそれに対する委員長・事務局のコメント

2024/8/14

以下に各委員から頂いたご意見・コメントを示し、それに対する委員長・事務局の見解・コメントを記載します。

1. 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果(その1)― 四半期ごとの報告(令和6年度春季)を中心とした令和5年9月以降の計測結果 ― (審議)

No.	委員の意見・コメント:7/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(7/25)	再度の意見照会/関係者の意見(8/8㍻切)・ 委員長・事務局コメント(8/14)	今後の対応 (委員長・事務局)
1-1	【河原長美委員】 ・降雨が6月ぐらいから多くなりだしたので、今後の水質の変化が気になる場所である。 ・有機塩素化合物については、 a) 地点11と30は安定してNDのようである。この2地点では環境基準到達の確認の際には計測を再開することにして、当面計測を停止してもよいかもしれない。 b) 地点31とD西-1については、環境基準以下ではあるが、変動しており状況は異なる。 ・ベンゼンについては、a) 地点11と30ではR5年の途中から急速に低下しているが、b) 地点31とD西-1については、低下傾向ではあるが、変動している。特に、地点31は環境基準を超えて濃度低下が減速しているように見え、今後の濃度変化に注目したい。 ・ジオキサンについては、a) 地点11とD西-1では急速に環境基準以下に低下しているが、b) 地点30と地点31では濃度低下が緩やかであり、降雨が増えたことによる濃度低下への効果の程度が気になる。	有機塩素化合物の地点①①、②②も含めた4地点におけるすべての汚染質の傾向について解析するとともに、降雨量や浸透池の水位等との関係を整理・分析し、本年度中には「中間報告 その1」として審議いただくことにしています。その際に、頂戴した計測頻度に関する意見等についても検討を行ってまいります。 ベンゼン及び1,4-ジオキサンの濃度傾向についてもご意見をいただき、ありがとうございます。本年度も年4回の計測を継続してまいりますとともに、上述したようにその分析や浸透池等の管理データとの関係を解析し、審議いただきます。そのなかでご指摘の事項等に付きまして検討いたします。	なし	7/25の見解・コメントのとおり。
1-2	【河原能久委員】 ・水質の変化は緩やかではあるが、改善に向かっている。 ・地点①①とD西-1 地点でのベンゼンは環境基準を満たそうとしている。 ・地点②②から③③にかけて、1,4ジオキサンは残存しており、環境基準を満たすには今暫く時間がかかる。 ・水質のモニタリングを継続することが必要である。	上述した「中間報告 その1」のなかで、ご指摘の事項も検討いたします。	なし	同上
1-3	【平田委員】 ・水質モニタリングを継続する必要がある。	本年度も年4回の計測を継続してまいります。年度末には上述しましたように「中間報告 その1」として、それまでの計測結果の分析や地下水管理の状況等との関係の整理・解析等を行い、計測の頻度等についても検討いただくことになっております。その際に、ご意見を頂戴致したいと思っております。	なし	同上
1-4	【松島・門谷各委員】 意見はありません。		なし	
1-5			【豊島住民会議】 意見はありません。	

2. 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況(その1)(令和6年3月~5月)(審議)

No.	委員の意見・コメント:7/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(7/25)	再度の意見照会/関係者の意見(8/8㍻切)・ 委員長・事務局コメント(8/14)	今後の対応 (委員長・事務局)
2-1	【河原能久委員】 ・今期ではまとまった降雨によって貯留量が増加した。 ・浸透池からの浸透能力を大きな値で維持したいと思います。	処分地内の浸透池の水位等を継続して観測し、浸透池の浸透速度を整理してまいります。浸透速度の低下が見られた場合には、第2次フォローアップ委員会の了承を得たうえで底面の浸透能力の回復作業を実施いたします。		7/25の見解・コメントのとおり。
2-2	【河原(長)・平田・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
2-3			【豊島住民会議】 意見はありません。	

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の進捗状況(報告)

No.	委員の意見・コメント:7/11㍻切	委員長・事務局の見解・コメント(7/25)	再度の意見照会/関係者の意見(8/8㍻切)・ 委員長・事務局コメント(8/14)	今後の対応 (委員長・事務局)
3-1	【河原能久委員】 ・浸透池の嵩上げ工事は貯水のため延期せざるを得ない。	残念ながら処分地は冠水状態にあり、工事を延期しています。水位の低下後に、法面の修繕と嵩上げ工事を実施し、その結果を報告いたします。		7/25の見解・コメントのとおり。
3-2	【河原(長)・平田・松島・門谷各委員】 意見はありません。			
3-3			【豊島住民会議】 意見はありません。	

令和6年8月14日

第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R6. 6. 27 資料送付・8. 14 決定事項の報告)
～ 決 定 事 項 ～

1. 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その1）
－ 四半期ごとの報告（令和6年度春季）を中心とした令和5年9月以降の計測結果 －（審議）

標記資料については、6月27日送付版のとおり了承した。

なお、今後も地下水の環境基準への到達に向けての年4回の水質計測を継続し、年度末には「中間報告 その1」として、各計測点における計測結果の分析や地下水管理の状況等との関係の整理・解析等を行い、審議いただくこととする。

2. 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その1）（令和6年3月～5月）（審議）

標記資料については、6月27日送付版のとおり了承した。

なお、今後も処分地内の浸透池の水位等を継続して観測し、浸透池の浸透速度を整理する。浸透速度の低下が見られた場合には、第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会の了承を得たうえで底面の浸透能力の回復作業を実施する。

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の進捗状況（報告）

標記資料については、6月27日送付版のとおり了承した。

水位の低下後、法面の修繕と嵩上げ工事を実施し、その結果を報告することとする。

令和6年8月14日

第4回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会
に関する持ち回り審議
(R6. 6. 27 資料送付・8. 14 決定事項の報告)
～ 審議事項の概要 ～

1. 地下水の環境基準への到達に向けての計測の実施状況と結果（その1）

- － 四半期ごとの報告（令和6年度春季）を中心とした令和5年9月以降の計測結果
- － （審議）

第18回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R5. 3. 26Web 開催）において審議・承認いただいた「処分地全域での地下水における環境基準の到達及び達成の確認マニュアル」及び第3回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R6. 3. 27Web 開催）で審議・承認された「令和6年における各種調査の実施方針」に基づき、地下水の水質計測を継続している。

今回、地下水の水質調査を令和6年5月（令和6年度春季）に実施したことから、地下水濃度の推移を確認いただき、今後の予定を審議した。

2. 自然浄化対策の実施状況と豊島処分地全体の保全管理の状況（その1）（令和6年3月～5月）（審議）

豊島処分地では、雨水の地下浸透等による自然浄化により地下水の環境基準の達成を目指しており、雨水の地下浸透量等の知見を得るため、令和5年4月（貯水池の水位測定は、令和5年5月から）から豊島処分地の降雨量や雨水貯水池等の水位観測を行っている。

今回、令和6年3月分から5月分までの豊島処分地の降雨量や貯水池等の貯留量及び地下浸透量等の観測・推定結果及び、地下水の自然浄化対策と「地下水の自然浄化対策関連施設の運用を含む豊島処分地の維持保全管理マニュアル」（R5. 9. 25 策定）に基づき施設の点検等を行った結果と対応を確認いただき、今後の予定を審議した。

3. 浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の進捗状況（報告）

第3回第2次豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（R6.3.27Web開催）において、審議・了承いただいた「浸透池周辺の盛土による嵩上げ工事の実施計画（資料3・Ⅱ／7）」では、嵩上げ工事を4月から着工することとしていたが、降雨の影響により貯水池の水位が高く、現時点においても着工できていない状況と、今後、水位が下がり次第嵩上げ工事に着手することを報告した。